

法科大学院 「統一適性試験」速報

受講生からの
本試験体験記
“受験レポート”

日弁連法務研究財団 2004年6月13日(日)実施試験

試験前 ●●●

2004年6月13日(日)雨が降るかなあと思ったところ、ひとつない晴天。何かついているなあと思いつつ、試験会場へ。教室が5階で、しかも、エレベーターなしときた。運動不足の私はそれだけでかなりの体力を消耗。教室に入ると、30～40代ぐらいの方が多く、皆さん必死に勉強をしている。「おお、受験会場だあ!」と、緊張感がこみ上げてくる。

第1部 ●● 論理的判断力を測る問題

前もって答案用紙が机上に配られていたので、問題数が23ということがわかっている。「これは、時間との勝負」と思い、最初からスパートをかける。問題が思ったほど難しくなかったのと、同じような出題傾向の問題がかなりあったので時間前になんとか終了。途中から、試験官が隣の椅子に座り、暇そうにこちらをず～と見ていたので、めちゃめちゃ目障り(?)だった。

第2部 ●● 分析的判断力を測る問題

大問は5問。昨年の4問から1問増加。第1部が結構いけたので、余裕をもってやっていると、第4問・第5問がいくつも場合分けをしなければいけない問題、時間的に危なかった。周りの受験生も時間がなかった人が多かったようで、終了の声がしても記入している人がいて、試験官が「終了です。」と言いながら、その席に飛んできて、その人からシャープペンをもものすごい勢いで奪っていた(怖かった)。

第3部 ●● 長文読解力を測る問題

大問は4問。去年同様、文章が長い。けっこう硬い内容ばかりで、疲労がどっと出る。集中力も途切れそうになるが、設問を先に読み、なんとか乗り切った…。

休憩時間 ●●●

みなさん、一気に教室から消える。近くの喫茶店は受験生でいっぱい。仲間と試験内容について話すグループもあれば、死んだように寝ている人もいた。



第4部 ●● 表現力を測る問題

休憩明けで帰ってこない人が何人もいた。席がまばらに空いている。そんなことを気にしている余裕はない。この内容を40分で、しかも、論点4つは本当につらい。一心不乱に書きなぐる!!

試験終了 ●●● 受験生の皆さん、本当にお疲れ様でした。